

MJ進路通信

群馬県立前橋女子高等学校
進路指導部
令和4年6月30日(木) 第11号

先輩に聞く！「大学の時間割」を教えてください！

大学生といっても、1年生は教養科目中心、学年が上がるにつれて専門科目、ゼミナールとなっていくます。高校と違うのは、授業が1コマ90分です。

◎Aさん（福島県立医科大学 医学部医学科3年）

□大学2年前期 ※1コマ60分

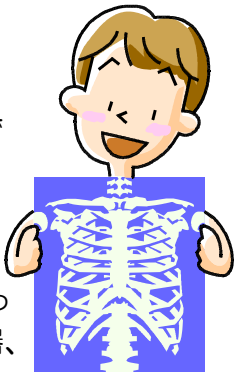
	月	火	水	木	金
1限	臨床解剖学		統計学	英語	発生学
2限	発生学	英語	生理学	微生物学	薬理学
3限	発生学	解剖実習	生理学	組織学	薬理学
4限	解剖実習	解剖実習	生化学	組織学	免疫学
5限	解剖実習	解剖実習	免疫学	組織学	免疫学
6限	解剖実習	解剖実習	免疫学	組織学	免疫学

□大学3年前期 ※1コマ60分

	月	火	水	木	金
1限	呼吸器	内分泌・代謝	消化器	血液	放射線
2限	呼吸器	内分泌・代謝	消化器	血液	放射線
3限	呼吸器	内分泌・代謝	消化器	英語	放射線
4限	小児	循環器	循環器	臨床検査医学	腎・泌尿器
5限	小児	循環器	循環器	臨床検査医学	腎・泌尿器
6限	小児	循環器	循環器	消化器	腎・泌尿器

本学は履修登録がありません。なぜなら全ての科目が「必修科目」だからです。1つでも単位を落とすと留年するので、毎年各学年10人弱の人が留年します。また、本学は他の大学と違い、「1コマ60分」の授業です。1年では他の学部と同じように、外国語や心理学、人文社会、物理や化学、数学など一般教養を主に学びました。2年、3年になると空きコマはほとんどなくなりました。2年では解剖実習をはじめ組織学や免疫学、微生物学などの基礎医学を学びました。やっと、私は医学部に入ったんだ、という自覚が芽生えました。現在は3年になり、循環器や呼吸器、小児などといった皆さんも馴染みのある各診療科ごとに疾患や治療について学んでいます。3年半後の国家試験に出題されるメインの分野なので、夏の試験に向けて気合を入れて勉強している最中です。

福島県といえば11年前の原発事故のことを思い出す人も多いと思います。3年の時間割では放射線について学ぶ時間が週に3コマあります。11年前、本学では多くの医療従事者



が泊まり込みで被爆した患者の治療にあたっていました。また原発近くの病院にいたたくさんの患者も、福島県の医療の中核である本学に避難してきたそうです。医師にすらまだ正しい知識が広まっていなかった中で起こった事故の詳細やそれに対する病院の対応、住民や患者の避難、それらは果たして正しかったのかについて、本学では、当時現場で治療にあたっていた先生方の貴重な講義を直接聞くことができます。放射線被爆治療に興味がある人にとっては間違いなく日本一の医学部です。もし医学科、本学の受験を考えている人がいたら、受験や面接にあたってのアドバイスや、大学付近の交通手段など力になれることがあると思うので、聞きたいことがあれば是非連絡してください。

◎Bさん（お茶の水女子大学 文教育学部人文科学科地理学コース3年）

□大学2年前期 ◇不定期・・・未来起点ゼミⅢ

	月	火	水	木	金
1限	文理融合データサイエンスⅡ	心理統計法	政治・政策とジェンダー		
2限	開発とジェンダー	中級英語			グローバル化/ローカル性とジェンダー
3限		社会地理学		人文地理学分析基礎演習	
4限				人文地理学分析基礎演習	
5限		ジェンダー論		地域社会論	

私が2年生だった2021年度まで、履修した授業はほとんどオンラインで開講されました（私は履修していませんが、実験を含む授業などは対面でやっていた時期もありました）。これにより通学時間を節約できたため、毎学期12～16の授業を履修しました。多くの授業を履修できた点は、オンライン授業のメリットだったと思います。ちなみに、お茶の水女子大学では原則全学部の授業が履修でき、授業数に上限はありません。

2年前期は、3つの必修の授業がありました。火曜2限の「中級英語」、火曜3限の「社会地理学」、木曜3-4限の「人文地理学分析基礎演習」です。

「中級英語」はアカデミックイングリッシュを学ぶ授業で、自分の好きなテーマでエッセイを書きました。第二外国語は1年次にフランス語を履修して満足したので、2年以降、外国語の授業は英語だけです。



「社会地理学」では、仕事、居住、犯罪、ジェンダー、エスニティ、都市と農村などの社会現象を空間的に分析しました。前半は社会地理学の理論の講義を受け、後半はその理論を基に韓国済州島でのフィールドワークを読み解きました。済州島は観光地として有名ですが、戦時中は日本による植民地支配を受けていました。

「人文地理学分析基礎演習」は、GIS（地理情報システム）の使い方を学ぶ授業です。GISを使うことで様々なデータを地図に描くことができます。地理学コースではいくつかのGISの授業を履修し、さらに卒業論文でGISを使うことで、GIS学術士の資格を取得できます。

その他の授業は自分の興味関心に合わせて履修しました。月曜一限の「文理融合データサ

イエンスⅡ」では、統計ソフトRを使ってデータ解析を行いました。データ解析と言うと、理系のイメージを持たれる方もいるかもしれませんが、しかし、文系/理系によらず、広く使用される研究手法です。例えば、人文学の分野には膨大なデータの蓄積があり、それを解析することで新たな発見が得られる可能性があります。この授業では、夏目漱石の小説などを分析しました。

「ジェンダー論」「開発とジェンダー」「政治・政策とジェンダー」「グローバル化/ローカル性とジェンダー」は、文字通りジェンダーの授業です。ジェンダー研究は英語で Gender Studiesと言いますが、このようにstudiesとつく分野は比較的新しく、また学際的（分野横断的）な性格を持ちます。「ジェンダー論」で基礎を学び、「開発とジェンダー」「政治・政策とジェンダー」でジェンダーという視点から開発、政治・政策を考え、「グローバル化/ローカル性とジェンダー」でグローバル/ローカルという2つのスケールでジェンダー研究の系譜を追いました。

弊学では、様々な分野にジェンダー研究をされている先生がいらっしゃいます。ジェンダーを学べると、自分のアイデンティティや社会での位置を見つめるようになります。また、性別という属性を考えると、年齢、職業、国籍などその他の属性とそれらに付与された価値やイメージも気になり始めます。例えば、「女子校は怖い」と耳にすることがありますが、実際はどうでしょう？私は違う、または女子校に限らないと思いますが、なぜこのようなイメージがあるのでしょうか？もしジェンダーに興味がある人がいたら、シラバスを検索してみてください。先生がお勧めされる本なども見れます。

「未来起点ゼミⅢ」は、株式会社ブリヂストンと弊学の連携で開講されている授業です。受講者それぞれが実現したい未来の実現に向けて、何が必要で、自分は何ができるか、を対話を通じて考えます。ブリヂストンの社員さんのお話も聞けました。ワークショップのような授業でとても楽しかったです。

□大学生生活

サークルについては、地理学サークルとボランティアサークルに入っています。どちらも未だにオンラインでの活動が中心です。活動できるのは嬉しいですが、実際に仲間に会いたいという気持ちもあります。一方、友人によると、運動系、音楽系のサークルは対面で活動できているようです。また、友人とは対面授業に切り替わった今年度から、ようやく毎週会えるようになりました。2年間画面を通してのやり取りばかりだったのでとても嬉しいです。

先輩に聞く！**苦手科目をどう克服したか**

前女生諸君に感じてもらいたいのは、「工夫する」ということ。

◎Cさん（慶應義塾大学 法学部政治学科3年）

◇国語

1 克服前の苦手度

高校2年までは学年の上位1/3くらい。なんとなく解いてなんとなく正解している状態。私立を受けるときに足を引っ張らないか心配していた。以下の対策によって、最終的には



早稲田のどの学部も合格点を下回る不安なく受験できるレベルにまでになりました。

2 工夫や対策

図書館で伊勢物語や平家物語、雨月物語、徒然草のマンガを読んだり、「あさきゆめみし」で源氏物語のストーリーをさらったりした。スタディサブリの現代文で、二項対立で読む読み方や解き方を確立した。アウトプットとして、夏休みにセンターの過去問を大量に解いたのが功を奏したと思う。

3 役立った参考書

・入試現代文へのアクセス 発展編（河合塾）＜2019.5~2019.9＞（要約がついているのでおすすめ）

・入試現代文へのアクセス 完成編（河合塾）＜2019.10~2019.12＞

・得点奪取現代文記述・論述対策（河合塾）＜2019.8~2019.1＞

→主に難関国公立用。早稲田政経の論述用に。記述問題では、私大の選択肢問題では養えない、文章を分解して自分の力で組み立てなおす能力が得られる。

・源氏物語マスターノート

→学校で学年末に配布された。使っている人は少なかったがこれを何周かして、音読したことで古文が急上昇した。

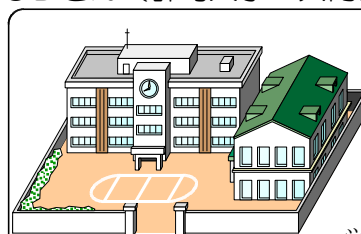
・古文単語FORMULA600 CD付（東進）＜2019.10~2020.2＞

→これはすごく力になった。登下校中に2.5倍速ぐらいで音源を聞いていたら1、2か月で単語が入った。

・大学入試国語頻出問題1200（いいずな）

→前半部分を愛用した。早稲田政経で慣用句・四字熟語が一問出るのでその対策に用いた。古文単語の慣用読みもここで覚えた。

◎Dさん（群馬大学 共同教育学部教育人間科学科教育心理専攻2年）



私は受験科目の中でこれといって得意・苦手を感じていた科目はなく、点数も科目ごとに大きく偏っているということはありませんでした。

しかし振り返って考えると、受験勉強期間を通して一番成長を実感できた科目は、「英語」です。私の場合、2年生の2学期頃までは、模試の前半にある単語の穴埋めや文法の正誤を問

う問題は7~8割ほどできていたものの、後半の長文読解が解ききらず、全体の足を引っ張っている印象でした。意味を覚えていなかったり、曖昧である英単語が2,3語続くと全体の流れを掴みきれなくなることが多かったため、学校の授業はじめに毎行行われる単語小テストに、しっかりと対策をして臨むようにしました。効果が出たのは3年生の2学期頃と遅めだったため、自分の頑張りが正しいのか不安に思うこともありましたが、模試を重ねるごとにテスト時間全体に余裕が生まれていきました。最終的に本番の共通テストでは、8割の点数、偏差値60前半と、私にしては大健闘と言える結果を出せたと思います。

私は志望校を群馬大学のみ絞って勉強をしていたため、共通テスト対策に寄った内容になってしまいましたが、今はもちろん当時の私よりはるかに勉強を頑張っているであろう皆さんの参考に、少しでもなれていたら幸いです。受験勉強頑張ってください！